

戦後81年

戦争の記憶を次の世代へ
そして平和を守る強い決意へ

8月15日は終戦記念日です。

81年前のこの日、実質的に日本は
戦争を終結しました。

戦争を経験した世代が少なくなる中、
体験の記憶を、

次の世代へとつないでいきたいと思います。



父 | 17歳、予科練へ

父は終戦当時17歳。茨城県の霞ヶ浦海軍航空隊で訓練を受け、その後、京都府の舞鶴基地で終戦を迎えました。戦争のことはほとんど語らず、「あの時期が数か月遅れたら特攻隊で出撃していたかも」と語ることもありましたが。亡くなる何年か前に、「舞鶴に行ってくる」と言って母と一緒に出かけました。そこで何を思い合ったのか、今となっては知ることはできません。

母 | 12歳、甲府空襲を見つめた夜

母は終戦当時12歳・小学6年生でした。1945年7月6日の甲府空襲の夜、母の実家（旧田富町）から、甲府の街が炎上する状況を見続けていたことを、ぼろっと話したことを記憶しています。戦争中のことはほとんど語りませんでしたが、実兄を亡くし、銃後の兵として飛行場の石拾いをしていました。

義父 | 極寒の北海道へ

義父は戦時中、農業従事のため、山梨から北海道へ行かされました。厳しい寒さの中での生活は、寒さと空腹で大変なものだったと聞いています。戦争の記憶を多く語ることはありませんが、過酷な環境の中で過ごした日々は、忘れられないものとなっているそうです。

義母 | 消えなかった空襲の記憶

義母は、甲府空襲の日、住んでいた山梨市から燃える甲府の街が明るく見え、その光景がとても怖かったそうです。山梨市も空襲対象でしたが雨が降ったため取りやめとなったそうです。その記憶は戦後も消えず、妻が小学校の頃になっても、庭で洗濯物を干している時に上空を飛行機が通ると、怖がって家の中へ入っていたそうです。

81年間で、日本は大きく変わりました。― 焦土からの復興、成長、停滞、そして再び立ち上がる日本経済 ―

1945年

敗戦・経済の崩壊

工場やインフラが破壊され、生産能力は極度に低下。ハイパーインフレと深刻な物資不足、無通貨・物々交換に近い壊滅的な状態からスタート。

1980年

安定成長期と 大国化への道

オイルショックの混乱を乗り越え、自動車や家電などの輸出産業が強さを発揮。省エネ技術で世界をリード。

名目GDP
約247兆円

1990年

バブル経済の 絶頂期

株価・地価の急騰（バブル景気）の最盛期。しかし、同年から金融引き締めや総量規制によりバブルが崩壊。世界に占める日本の経済プレゼンスは極めて高いピークに。

名目GDP
約446兆円

2015年

長期停滞と デフレの時代

バブル崩壊後のデフレと低成長が続き、少子高齢化と人口減少が本格化。2010年代には中国に抜かれ、世界第3位。

名目GDP 約540兆円
(実質GDP 約536兆円)

2025年

物価上昇を伴う 名目拡大

コロナ禍からの経済活動再開や、世界の各地で起こる紛争等による世界的な資源高・円安を背景に、物価上昇が進行。ドイツに抜かれ世界4位。

名目GDP
約662兆円
(過去最高を更新)

名目GDPは過去最高を更新しました。しかし、生活実感はむしろ厳しくなる一方で、解決しなければいけない課題は山積しています。

✓ 物価高による家計・企業負担の増大
✓ 少子高齢化と人口減少の加速
✓ 国際競争力の低下（生産性・DX・人材育成）

✓ 産業構造の転換の遅れ
✓ 地方経済の疲弊と地域間格差の拡大等

これらの課題をしっかりと解決し、「次の世代」へつなげていくことが政治の役割です。

平和があったからこそ、
未来を築くことができた。

父母の世代が、戦争と戦後の混乱を経験しその後の世代が81年かけて現在の社会と経済を築いてきました。

戦争はかけがえのない命と、未来の可能性を奪います。平和は、暮らしと経済、そして希望の基本です。

だからこそ、次の世代へ。

✓ 戦争を起こさせない外交・安全保障
✓ 国民の命と暮らしを守る強い経済と社会
✓ 強い経済と地方の活力
✓ 子どもたちが希望を持てる未来への投資

平和を守り、安心して暮らせる日本を作るために全力で取り組んでいきます。

戦争の記憶を忘れず、
平和の大切さを、
次の世代へ。



戦争の記憶を忘れず、平和の大切さを、次の世代へ。

国会議員に「お盆休み」はある？

お盆の時期になると、「国会議員もお盆休みなの？」と思われる方もいるかもしれません。

実は、国会に「お盆休み」という制度があるわけではありません。

国会は会期が終了すると閉会しますが、閉会中でも必要に応じて委員会を開き、審査や調査を行うことができます。

本会議や委員会が開かれていない時期も、地元で皆様のお話を伺ったり、政策について調査・検討したり、党の会議や各種行事に出席したりと、**国会議員の活動は続いています。**

お盆は、普段より地元で過ごす時間を確保しやすい時期でもあります。

国会に「お盆休み」という制度はありません！

閉会中の国会はどうなっているの？

国会が閉会している間も、衆議院・参議院の常任委員会や特別委員会は、議決があれば「閉会中審査」として会議や調査を行うことができます。

例

- ・法律案や予算の審査
- ・政府からの報告聴取
- ・参考人の招致や現地調査 など



閉会中は、じっくりと政策を練り上げ、次の国会に向けた準備を進める大切な期間でもあります。

ちょっと知ってる？

「終戦記念日」は正式名称？

8月15日は一般に「終戦記念日」と呼ばれています。

しかし、政府が定めている名称は、

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」

です。

1982(昭和57)年の閣議決定により、毎年8月15日をこの日とすることが定められました。

毎年、日本武道館では政府主催の「全国戦没者追悼式」が行われ、正午には戦没者を追悼する1分間の黙とうが捧げられます。



私たちが普段使っている「終戦記念日」と、政府が定めた正式な名称は違うんです。

8月15日までとその後の流れ

8月14日

ポツダム宣言受諾を
連合国側へ通告

8月15日

玉音放送
(天皇陛下のご放送)

9月2日

降伏文書への調印
(正式に戦争が終結)

※「終戦」は、一般に8月15日を指しますが、国際法上の戦争終結は9月2日となります。

やまなし政治塾 参加者募集

日時 8月22日(土) 12:00~13:30

会場 労農福祉センター
(山梨県甲府市相生2丁目7-17)

講師 後藤斎

内容 国政課題と現在の状況、山梨県の課題

受講料 全4回 2,000円

応募締切 8月20日(木)



政治を学び、考え、行動する仲間を増やしていきましょう！

参議院議員 後藤斎プロフィール(国民民主党・山梨県選出)

所属委員会等

- ・国土交通委員会 理事
- ・政治改革特別委員会
- ・行政監視委員会 オブザーバー理事

党役職

- ・選挙制度調査会長
- ・農林水産部会 副会長
- ・政治改革・行政改革推進本部 本部長代理
- ・政務調査会 筆頭副会長

政府役職

- ・国土審議会 豪雪地帯対策分科会特別委員
- ・国土開発幹線自動車道建設会議委員

略歴

- ・1957年 山梨県生まれ
- ・東北大学経済学部卒業
- ・農林水産省勤務
- ・衆議院議員4期
- ・山梨県知事

